



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 スペースシャワー-SKIYAKIホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4838 URL <https://sssk-hd.com>
代表者 (役職名) 代表取締役共同社長 (氏名) 林 吉人
代表取締役共同社長 (氏名) 小久保 知洋
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 酒井 真也 TEL 03-6478-2394
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	11,904	12.5	1,339	130.4	1,381	137.2	800	147.2
2025年3月期中間期	10,581	18.6	581	△15.0	582	△14.2	323	△23.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 830百万円（131.5％） 2025年3月期中間期 358百万円（△14.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	48.79	—
2025年3月期中間期	19.43	—

（参考）持分法投資損益 2026年3月期中間期 一百万円 2025年3月期中間期 △0百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	17,023	8,570	49.9
2025年3月期	15,959	8,082	50.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 8,495百万円 2025年3月期 8,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
2025年3月期期末配当金の内訳：普通配当 10円00銭 記念配当 3円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	22,000	6.6	1,600	82.3	1,630	83.3	960	233.8

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 有

新規 ー社 (社名) ー

除外 1社 (社名) コネクトプラス株式会社

(注) 詳細は、添付資料8頁「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	17,029,205株	2025年3月期	17,029,205株
2026年3月期中間期	627,044株	2025年3月期	488,182株
2026年3月期中間期	16,413,492株	2025年3月期中間期	16,674,500株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(企業結合等に関する注記)	11
(収益認識に関する注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、エネルギー価格や生活必需品を中心とした物価上昇が個人消費の抑制要因となっており、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する、音楽・エンタテインメント業界においては、引き続き活況を呈しております。一方で、物価上昇に伴う制作費・人件費の高騰がコスト面での課題となっているほか、消費者の支出行動には選別傾向も見られ、価格帯や体験価値に応じた商品設計が求められております。また、AIやデジタル技術の進展により、コンテンツ制作や流通の在り方も変化しており、従来型のビジネスモデルからの転換と、多様化するファンニーズへの対応が重要な課題となっております。

このように多様化し、変革を求められる社会・経済環境において、当社グループは、2024年4月に株式会社スペースシャワーネットワークと株式会社SKIYAKIとの経営統合を経て、持株会社体制へと移行し、両社の強みを活かした新たな企業体制を構築してまいりました。統合から1年が経過し、グループとして初の中期経営計画「Ignite 2027」初年度となる2026年3月期において、コンテンツとテクノロジーを融合させた新たな価値創造に取り組み、定量目標の達成に向けて、持続的な発展を実現してまいります。

当中間連結会計期間においては、株式会社スペースシャワーネットワークのイベント事業で、5月24日、25日に幕張メッセ国際展示場で開催した日本最大級のヒップホップフェスティバル「POP YOURS」にて約3万5千人、8月29日から31日の3日間、山中湖交流プラザきららで開催した「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2025」にて過去最高となる約8万5千人を動員し、ともにチケット全日程、全券種完売での公演となりました。アーティストマネジメント事業では、所属アーティストのSuchmosが横浜アリーナで約6年ぶりの活動再開となるライブを行い約2万4千人の動員を記録したほか、レーベル・エージェンツ事業にて、STUTSのリリース楽曲が大塚製薬「ポカリスエット」の新CM曲に採用され、9月23日にはKアリーナ横浜にて公演を行うなど、当社グループの企業価値向上に寄与しました。インフィニア株式会社が運営するエンタテインメントカフェ事業では、中京地区初出店となる「あつとほおむカフェ名古屋大須本店」を2店舗同時に開業するなど、継続的に事業を拡大しております。株式会社SKIYAKIのプラットフォーム事業「Bitfan PRO」「Bitfan」においては、ファンクラブの有料会員数が145.3万人(前年同期比11.0%増)と好調に推移しました。また、株式会社SPACE SHOWER FUGAが提供するディストリビューション事業や、スペースシャワーエンタテインメントプロデュース株式会社が提供する映像制作事業、ライアンス事業においても、継続的な案件獲得により順調な滑り出しを見せております。

これらの取り組みの結果、売上高は11,904,693千円と前年同期比1,323,045千円増(同12.5%増)と増収となりました。また、各段階利益につきましては、営業利益は1,339,254千円と前年同期比757,981千円増(同130.4%増)、経常利益は1,381,190千円と前年同期比798,800千円増(同137.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は800,739千円と前年同期比476,760千円増(同147.2%増)、EBITDAは1,641,694千円と前年同期比726,207千円増(同79.3%増)となりました。なお、EBITDAは、営業利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額となります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、セグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額となります。

① コンテンツセグメント

ライブハウス事業やエンタテインメントカフェ事業など店舗ビジネスにおいては、稼働率、来場者数ともに好調に推移いたしました。また、イベント事業においては、前年同期に台風影響によるチケット払い戻しを行っていましたが、今期は「POP YOURS」「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER」がチケット完売で無事開催され、さらに、アーティストマネジメント事業とレーベル・エージェンツ事業で、前年同期と比べ大いに活発となった所属アーティストの公演収益拡大により増収増益となりました。

この結果、売上高は6,483,840千円と前年同期比726,695千円増(同12.6%増)となり、セグメント利益(営業利益)は1,062,471千円と前年同期比522,691千円増(同96.8%増)、セグメントEBITDAは1,203,801千円と前年同期比531,413千円増(同79.0%増)となりました。

②ソリューションセグメント

ディストリビューション事業において、音楽配信売上と著作権隣接権売上が好調に推移し、プラットフォーム事業でのストック収益であるファンクラブ売上とフロー収益のEC売上が好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、売上高は5,420,852千円と前年同期比596,350千円増（同12.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は275,989千円と前年同期比201,936千円増（同272.7%増）、セグメントEBITDAは437,099千円と前年同期比161,439千円増（同58.6%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、その他（流動資産）が111,690千円、建設仮勘定が192,542千円、顧客関連資産が72,500千円、繰延税金資産が156,893千円減少した一方で、現金及び預金が453,866千円、受取手形及び売掛金が892,953千円、仕掛品が92,598千円、建物及び構築物などの有形固定資産（建設仮勘定を除く）が226,035千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,063,969千円増加し、17,023,903千円となりました。

負債は、未払金が751,309千円減少した一方で、買掛金が546,658千円、未払法人税等が303,498千円、預り金が346,409千円、その他（流動負債）が124,303千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ575,413千円増加し、8,453,244千円となりました。

純資産は、市場買付により自己株式を取得したことにより自己株式が109,420千円増加した一方で、利益剰余金が585,705千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ488,555千円増加し、8,570,659千円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績を踏まえ、2025年5月14日に公表の2026年3月期通期連結業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日（2025年11月13日）公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,489,456	6,943,322
受取手形及び売掛金	3,113,989	4,006,943
商品	43,977	57,617
仕掛品	147,303	239,902
貯蔵品	8,420	8,062
その他	575,939	464,249
貸倒引当金	△72,781	△59,135
流動資産合計	10,306,307	11,660,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,170,430	1,436,760
機械装置及び運搬具	12,787	10,287
工具、器具及び備品	660,680	716,925
土地	52,640	52,640
リース資産	3,320	19,767
建設仮勘定	192,542	—
減価償却累計額及び減損損失累計額	△885,382	△995,868
有形固定資産合計	1,207,019	1,240,512
無形固定資産		
のれん	1,217,767	1,170,930
顧客関連資産	1,885,000	1,812,500
商標権	72,186	65,868
ソフトウェア	483,123	435,101
ソフトウェア仮勘定	10,778	52,752
その他	5,199	8,264
無形固定資産合計	3,674,054	3,545,417
投資その他の資産		
投資有価証券	43,758	43,758
敷金及び保証金	436,081	414,764
繰延税金資産	208,046	51,152
その他	88,685	69,707
貸倒引当金	△4,018	△2,371
投資その他の資産合計	772,553	577,011
固定資産合計	5,653,627	5,362,941
資産合計	15,959,934	17,023,903

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,122,449	2,669,107
1 年内返済予定の長期借入金	66,400	33,000
リース債務	760	3,264
未払金	1,214,928	463,619
未払法人税等	113,444	416,942
預り金	2,591,100	2,937,510
賞与引当金	292,348	246,053
役員賞与引当金	39,044	68,013
その他	637,516	761,820
流動負債合計	7,077,994	7,599,331
固定負債		
リース債務	321	15,280
退職給付に係る負債	522,577	536,320
役員退職慰労引当金	31,322	34,302
繰延税金負債	214,890	206,625
その他	30,724	61,384
固定負債合計	799,836	853,912
負債合計	7,877,830	8,453,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	5,819,382	5,819,382
利益剰余金	2,302,452	2,888,158
自己株式	△202,471	△311,892
株主資本合計	8,019,362	8,495,648
非支配株主持分	62,741	75,011
純資産合計	8,082,104	8,570,659
負債純資産合計	15,959,934	17,023,903

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	10,581,647	11,904,693
売上原価	7,780,622	8,189,944
売上総利益	2,801,024	3,714,748
販売費及び一般管理費	2,219,750	2,375,493
営業利益	581,273	1,339,254
営業外収益		
受取利息	380	4,540
受取配当金	991	1,811
為替差益	—	16,110
受取和解金	—	17,026
雑収入	7,675	5,281
営業外収益合計	9,046	44,769
営業外費用		
支払利息	709	1,382
為替差損	6,036	—
持分法による投資損失	922	—
支払手数料	—	1,021
雑損失	262	429
営業外費用合計	7,930	2,833
経常利益	582,389	1,381,190
特別利益		
固定資産売却益	130	15
投資有価証券売却益	—	6,000
特別利益合計	130	6,015
特別損失		
固定資産除却損	189	38
事務所移転費用	44,232	—
その他	4,498	—
特別損失合計	48,920	38
税金等調整前中間純利益	533,599	1,387,167
法人税、住民税及び事業税	155,099	407,595
法人税等調整額	39,115	148,628
法人税等合計	194,215	556,224
中間純利益	339,384	830,943
非支配株主に帰属する中間純利益	15,405	30,204
親会社株主に帰属する中間純利益	323,978	800,739

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	339,384	830,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,502	—
その他の包括利益合計	19,502	—
中間包括利益	358,886	830,943
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	343,481	800,739
非支配株主に係る中間包括利益	15,405	30,204

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

（連結の範囲の重要な変更）

2025年4月1日を効力発生日として、株式会社SKIYAKIを吸収合併存続会社、コネクトプラス株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、当中間連結会計期間よりコネクトプラス株式会社を連結の範囲から除外しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンテンツ	ソリューション	計		
売上高					
メディア売上	1,357,112	—	1,357,112	—	1,357,112
ライブ・コンテンツ売上	2,791,529	—	2,791,529	—	2,791,529
エンタテインメントカフェ売上	1,608,503	—	1,608,503	—	1,608,503
ファンプラットフォーム売上	—	1,702,533	1,702,533	—	1,702,533
ディストリビューション売上	—	2,059,259	2,059,259	—	2,059,259
クリエイティブソリューション 売上	—	1,062,708	1,062,708	—	1,062,708
顧客との契約から生じる収益	5,757,145	4,824,501	10,581,647	—	10,581,647
外部顧客への売上高	5,757,145	4,824,501	10,581,647	—	10,581,647
セグメント間の内部売上高又は 振替高	332,894	47,089	379,984	△379,984	—
計	6,090,040	4,871,591	10,961,631	△379,984	10,581,647
セグメント利益	539,779	74,053	613,833	△32,559	581,273

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△32,559千円であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとのセグメントEBITDAは次のとおりであります。

	コンテンツ	ソリューション	計	調整額	合計
セグメント利益	539,779	74,053	613,833	△32,559	581,273
減価償却費	132,607	155,194	287,802	—	287,802
のれんの償却額	—	46,411	46,411	—	46,411
セグメントEBITDA (注) 4	672,387	275,659	948,046	△32,559	915,487

4. 各報告セグメントのセグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当中間連結会計期間より、株式交換により株式会社SKIYAKIの全株式を取得したこととともない、新たに同社を連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当中間連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、ソリューションセグメントにおいて7,676,821千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、株式交換により株式会社SKIYAKIの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、ソリューションセグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては1,299,511千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンテンツ	ソリューション	計		
売上高					
メディア売上	1,245,042	—	1,245,042	—	1,245,042
ライブ・コンテンツ売上	3,503,491	—	3,503,491	—	3,503,491
エンタテインメントカフェ売上	1,735,306	—	1,735,306	—	1,735,306
ファンプラットフォーム売上	—	1,934,753	1,934,753	—	1,934,753
ディストリビューション売上	—	2,495,783	2,495,783	—	2,495,783
クリエイティブソリューション 売上	—	990,315	990,315	—	990,315
顧客との契約から生じる収益	6,483,840	5,420,852	11,904,693	—	11,904,693
外部顧客への売上高	6,483,840	5,420,852	11,904,693	—	11,904,693
セグメント間の内部売上高又は 振替高	451,264	95,687	546,951	△546,951	—
計	6,935,104	5,516,539	12,451,644	△546,951	11,904,693
セグメント利益	1,062,471	275,989	1,338,460	793	1,339,254

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等793千円であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとのセグメントEBITDAは次のとおりであります。

	コンテンツ	ソリューション	計	調整額	合計
セグメント利益	1,062,471	275,989	1,338,460	793	1,339,254
減価償却費	141,330	114,272	255,602	—	255,602
のれんの償却額	—	46,837	46,837	—	46,837
セグメントEBITDA (注) 4	1,203,801	437,099	1,640,900	793	1,641,694

4. 各報告セグメントのセグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

（企業結合等に関する注記）

（共通支配下の取引等）

I. 吸収分割

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称：アライアンス事業（株式会社スペースシャワーネットワーク旧アライアンス事業本部の事業）

事業の内容：協賛広告の獲得及び他社とのコンテンツの共同制作等

(2) 企業結合日

2025年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社スペースシャワーネットワークを吸収分割会社とし、スペースシャワーエンタテインメントプロデュース株式会社（2025年4月1日付で株式会社セップより商号変更）を吸収分割承継会社とする吸収分割

(4) 結合後企業の名称

吸収分割会社	吸収分割承継会社
株式会社スペースシャワーネットワーク	スペースシャワーエンタテインメントプロデュース株式会社（2025年4月1日付で株式会社セップより商号変更）

(5) その他取引の概要に関する事項

業務の効率化、事業部門間の連携強化、全体的な事業ポートフォリオの最適化を目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

II. 吸収合併

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

（吸収合併存続会社）

結合企業の名称 株式会社SKIYAKI

事業の内容 ファンクラブなどのプラットフォームの開発・提供

（吸収合併消滅会社）

被結合企業の名称 コネクトプラス株式会社

事業の内容 アーティスト等のファンクラブ／ファンサイトの運営

(2) 企業結合日

2025年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社SKIYAKIを存続会社、コネクトプラス株式会社を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社SKIYAKI

(5) その他取引の概要に関する事項

業務の効率化、事業部門間の連携強化、全体的な事業ポートフォリオの最適化を目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(収益認識に関する注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。